



平成23年10月26日

各 位

上場会社名 株式会社 タムラ製作所
代表者 代表取締役社長 田村 直樹
(コード番号 6768)
問合せ先責任者 取締役常務執行役員 経営管理本部長 飯田 博幸
(TEL 03-3978-2031)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	37,000	200	△100	△400	△5.43
今回修正予想(B)	38,000	670	360	10	0.14
増減額(B-A)	1,000	470	460	410	
増減率(%)	2.7	235.0	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	35,581	594	△360	△577	△8.31

修正の理由

当第2四半期連結累計期間は、東日本大震災の影響による不透明なスタートとなり、経済環境も依然として厳しい状況にありますがサプライチェーンの立て直しも進み、各種の政策推進による効果などを背景に景気は緩やかながら回復基調へと推移いたしました。当社グループにおきましては、需要の回復を背景に電子部品事業が堅調に推移いたしました。中でもLED製品関連は省エネへのニーズの高まりもあり、LED照明などをはじめ、堅調に推移いたしました。しかしながら、車載関連や設備産業分野などの一部の分野ではサプライチェーンの混乱等もあり、最悪期は脱したものの需要の増加とまでは至っておりません。また、銅・鉄・錫などの原材料価格は高値での推移が続き、さらに為替相場の円高と引き続き厳しい市場環境は継続しております。

その結果、損益予想につきましては、厳しい市場環境は継続しているものの、電子部品事業を中心にプロダクトミックスの改善やVA活動ならびに各種の生産性向上へ向けた取り組みなどの効果もあらわれ、収益の改善が大幅に進み、前回予想を上回る見込です。

よって、当第2四半期連結累計期間の業績予想を上記の通り修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、平成23年5月11日に公表いたしました予想を据え置いておりますが、今後精査し、業績予想の変更が必要となった場合は速やかにお知らせいたします。

(注)業績予想につきましては、本資料作成時現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上